

# 平成16年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	事業課	内線等	97-1174
----	-------	-----	-----	---------

事業コード		事務事業名	ファンサービス品及び宣伝用物品等制作事業				
根拠法令等			A法令	B条例	C規則	Dその他	Eなし

## ①総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇
------------------	----

## ②事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡競艇来場者に
手 段	ファンサービス品等を配布することにより
想定する成果	蒲郡競艇のPRを行い、来場者及び売り上げ増につなげる。

## ③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
主な内容	SGオーシャンカップ・GI48周年・GI東海地区選手権・ナイターレース・一般レース・場外発売ファンサービス、宣伝用マッチ製作（SGオーシャンカップ、GI48周年、GI東海地区選手権、一般レース）、宣伝用衣服製作、オープン懸賞クイズ（SGオーシャンカップ・GI48周年・GI東海地区選手権）、出走表箱製作、宣伝関係消耗品	SGモーターボート記念、GI49周年・ナイターレース・一般レース・場外発売ファンサービス、宣伝用マッチ製作（SGモーターボート記念、GI49周年）、宣伝用衣服製作、オープン懸賞クイズ、出走表箱製作、電話投票キャンペーン、宣伝関係消耗品	GI50周年・ナイターレース・一般レース・場外発売ファンサービス、宣伝用マッチ製作（GI50周年）出走表箱製作、電話投票キャンペーン、宣伝関係消耗品
蒲郡競艇入場者数	1,083,418人	966,092人	792,000人
蒲郡競艇売上額	71,869,283千円	65,011,005千円	51,568,000千円

## ④成果指標

成果指標名	①	②
入場者1人当たりのファンサービス品及び宣伝用物品等制作事業費		
成果指標の説明	ファンサービス品及び宣伝用物品等制作事業費/入場者数	

## ⑤事業の進捗状況

（モーターボート競走事業特別会計）

（千円）

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標①	計画	-	-	52.6円
	実績	77.0円	38.1円	-
成果指標②	計画			
	実績			
事業費	事業費	93,970	46,928	68,023
	人件費	5,682	3,214	2,484
	(人数)	0.7	0.4	0.3
	合計	99,652	50,142	70,507
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	99,652	50,142	70,507

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	ファンサービス品を配布する場合としない場合では、開門時の入場者数が明らかに違うが、売り上げ増には直接結びついていない。また、電話投票会員向けのキャンペーンも16年度に実施したが、反応が十分ではない。
経済効率性	2	2	予算を縮小し、少ない経費でのファンサービスに努めている。
事務効率性	2	2	ファンサービス品の選定など早めに行い、事前告知が十分できるように努力している。
必要性	2	2	隣接する2競艇場にはさまれている蒲郡競艇にとって、魅力あるファンサービスを行いファンの誘致に結びつけることは必要である。
小計	8 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	市民参加はないが、競艇ファンからは要望のある事業である。
合計	9 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	経費節約の中で工夫しながらファンサービスを行っているが、本場への入場者の減は毎年大きくなっており、ファンを引きつけるサービスと購買額等に応じたファンサービスが必要である。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

<ul style="list-style-type: none"> <li>・開門時先着者に配布するファンサービスの回数を減らすとともに一般入場者と有料入場者への配布物を区別するなどファンサービスの差別化を図っている。</li> <li>・15年度から市観光協会とタイアップし、蒲郡市温泉郷のペア宿泊券を無償で協賛していただき、ファンサービスに利用している。</li> <li>・16年度からファンに配布する一般レースでのPR用定型マッチを廃止し、SG、GI競走のマッチのみとした。</li> <li>・16年度は、SG開催時のオープン懸賞クイズも協賛団体を募り、賞品を無料または安価で提供いただくなど経費の節減に努めた。</li> <li>・他場の経費で実施するキャンペーンも事前に出走表等で必ず告知を行い、自場ファンサービスの回数を多くみせる工夫をしている。</li> </ul>
---

⑧今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> <li>・先着ファンサービスだけでなく、購買額や入場先（一般席、有料席、指定席）に応じたファンサービスの差別化が必要である。</li> </ul>
--

⑨平成18年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

<ul style="list-style-type: none"> <li>・先着サービス品の決定・発注等は事業課宣伝担当で行い、配布はサービス課で行うシステムがうまく稼動していない。ファンサービスは、サービス課が実施する方が配布にかかわる人的な配置も十分把握でき、人的経費のコストが削減できる。</li> </ul>
--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

## 平成16年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	事業課	内線等	97-1174
事業コード		事務事業名	宣伝用印刷物等制作事業	
根拠法令等		A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

### ①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

### ②事務事業の内容

対象(受益者)	競艇ファン及び一般を対象に
手 段	競艇ニュース、3か月日程カード、先着サービス用印刷物等を制作し、配布することにより
想定する成果	蒲郡競艇のPRを行い、来場者及び売り上げ増につなげる。

### ③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
主な内容	競艇ニュース発行(37回)、3か月日程カード制作(4回)、スクラッチカード等先着サービス用印刷物	競艇ニュース発行(36回)、3か月日程カード制作(4回)、スクラッチカード等先着サービス用印刷物	競艇ニュース発行(35回)、3か月日程カード制作(4回)、スクラッチカード等先着サービス用印刷物
競艇ニュース発行部数	511,000枚	424,000枚	380,000枚
日程カレンダー	40,000枚	80,000枚	80,000枚
蒲郡競艇入場者数	1,083,418人	966,092人	792,000人

### ④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	入場者1人当たりの宣伝用印刷物等制作事業費	
成果指標の説明	本場関係宣伝用印刷物等制作事業費/入場者数	

### ⑤事業の進捗状況

( モーターボート競走事業特別会計 )

(千円)

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	-	-	2.9円
	実績	3.2円	2.8円	-
成果指標 ②	計画			
	実績			
事業費	事業費	6,430	4,855	4,263
	人件費	1,623	1,607	1,656
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	8,053	6,462	5,919
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	8,053	6,462	5,919

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	2	競艇ニュースは、次に開催するレースの見所やファンサービスを事前告知する媒体としてファンの間に定着している。また、3か月日程カードも東海地区4場の日程告知としてファンに親しまれている。競艇選手スクラッチカードについては、蒲郡競艇独自のカードとして人気がある。
経済効率性	3	2	競艇ニュース、3か月日程カレンダーとも制作費は、低くおさえる努力をしている。また、競艇ニュースのレース展望欄も職員が自ら原稿を作成、経費を節約している。
事務効率性	2	2	競艇ニュースの原稿作成は、担当者1人で行っており、大変だが効率よく実施している。
必要性	3	3	時節のレース展望、3か月ごとのレース日程とも競艇ファンにとって必要性が高い。
小計	11 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	市民参加の事業ではないが、競艇ファンの関心は高い。
合計	13 / 15 満点中	11 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	競艇ニュース、3か月日程カレンダーは、ファンの間に定着しており、次節以降のレースを周知するために役立っている。 先着サービス用印刷物については、効果的な配布に努めている。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

- ・見積競争の結果、競艇ニュースの印刷単価を年々低くおさえている。
- ・競艇ニュースのレース展望をスポーツ紙記者等への委託ではなく、職員が自ら書くことで経費の節約に努めている。

⑧今後改善すべき点

- ・インターネットホームページからの出走表取り出し、次節レース情報なども実施しており、将来的には紙ベースでの競艇ニュースの発行部数について検討する必要がある。
- ・先着サービスのスクラッチカードの配布については、効果を検討し、印刷数について減らすように検討する。

⑨平成18年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

- ・競艇ニュースのレース展望は、選手の特徴、近況成績、蒲郡競艇場との相性などを熟知していなければ原稿の作成が難しく、競艇に詳しい人材の配置が好ましい。

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

# 平成16年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	事業課	内線等	97-1174
事業コード		事務事業名	新聞・雑誌等広告事業	
根拠法令等		A法令	B条例	C規則 Dその他 <b>Eなし</b>

## ①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

## ②事務事業の内容

対象(受益者)	競艇に関心のある人及び広く多くの人に
手 段	スポーツ紙、一般紙、雑誌等に開催日程、出場選手、ファンサービスなどの広告を掲載し
想定する成果	ファンの来場促進、売上向上を図る。

## ③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
主な概要	スポーツ紙、一般紙、雑誌への広告掲載(SGオーシャンカップ、GI48周年、GI東海地区選手権、一般レース、場外発売)	スポーツ紙、一般紙、雑誌への広告掲載(SGモーターボート記念、GI49周年、一般レース、場外発売)	スポーツ紙、一般紙、雑誌への広告掲載(GI50周年、一般レース、場外発売)
蒲郡競艇売上額	71,869,283千円	65,011,005千円	51,568,000千円
本場開催関係新聞・雑誌等広告事業費	560,448,371円	505,020,029円	381,559,000円
場外発売関係新聞・雑誌等広告事業費	33,119,139円	37,335,847円	71,160,000円

## ④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	本場関係新聞・雑誌等広告事業費1円当たりの売上額	新聞・雑誌広告事業費の割合
成果指標の説明	本場開催売上額/本場開催関係新聞、雑誌等広告事業費	新聞・雑誌等広告事業費/広告宣伝費総額×100

## ⑤事業の進捗状況

( モーターボート競走事業特別会計 )

(千円)

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標	計画	-	-	135.2円
	① 実績	128.2円	128.7円	-
成果指標	計画	-	-	54.3%
	② 実績	59.4%	62.1%	-
事業費	事業費	593,568	542,356	452,719
	人件費	4,870	6,429	5,796
	(人数)	0.6	0.8	0.7
	合計	598,438	548,785	458,515
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	598,438	548,785	458,515

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	本場入場者の多くは、スポーツ紙の情報を見て開催日程や出場選手を知るファンが多いとのアンケート結果も出ており、達成度は高い。ただし、売り上げ減少に伴い、掲載経費及び出稿量については、さらに検討が必要である。
経済効率性	2	2	不特定多数に蒲郡競艇の情報をPRできる面では、効率的であるが、ナイターレースの拡大を図っている本市にとって、電話投票の売り上げ向上を目指し、中部地区外のスポーツ紙に出走表を掲載する金額の負担は大きい。
事務効率性	3	3	広告業者との連携を密にし、効率的な宣伝に努めている。また、一般紙等への無料パブリ掲載で大きな成果をあげている。
必要性	3	3	ナイターレースの拡大に伴い、多くのファンに開催を告知するために新聞媒体の活用は必要である。また、一般レースにおいても場外場の受託日数が増えており、新聞媒体への宣伝、出走表の掲載は必要である。
小計	10 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	2	1	市民参加の事業ではないが、競艇ファンの関心は高い。
合計	12 / 15 満点中	11 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	ナイターレース中心の蒲郡競艇にとって、新聞・雑誌広告での宣伝は重要である。経費を節約する中で、一層効率的な出稿が求められる。また、記者リリースによる無料パブリ掲載も継続する必要がある。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

<ul style="list-style-type: none"> <li>・SG、GIなどの主要レースについても毎年度経費削減している。</li> <li>・15年度SGオーシャンカップの中日スポーツ広告で、読者が選ぶ「カラー広告大賞優秀賞」を受賞するなど新聞を使った効果的な宣伝に努めている。</li> <li>・雑誌広告の掲載について効果を判断し、取捨選択をしている。</li> <li>・一般紙、スポーツ紙への記者リリースを頻繁に行っており、蒲郡競艇の無料パブリ記事が全国競艇場の中でも突出して多く掲載されている。</li> <li>・SG、GI、ナイターレースの開幕時には、名古屋地区各スポーツ紙、東三河地区一般紙を選手とともに媒体訪問し、記事としての掲載されるようPRしている。</li> </ul>
---

⑧今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> <li>・17年度から一般紙5紙へのレギュラー開催日程広告掲載をやめ、経費節約に努めた。</li> <li>・17年度からナイターレースの中部地区以外スポーツ紙への出走表掲載を18紙から9紙に削減し、経費節約に努めた。</li> <li>・雑誌についても効果を判断し、取捨選択をしている。</li> </ul>
--

⑨平成18年度予算に反映する項目

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ナイターレース中心の蒲郡競艇にとって、電話投票会員向け施策として中部地区以外のスポーツ紙への出走表掲載を有料で行っているが、17年度に掲載紙を半減させており、この結果と売り上げ状況を勘案し予算計上をする。</li> </ul>
---

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

# 平成16年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	事業課	内線等	97-1174
----	-------	-----	-----	---------

事業コード		事務事業名	出走表・前夜版配布搬送事業				
根拠法令等			A法令	B条例	C規則	Dその他	Eなし

## ①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

## ②事務事業の内容

対象（受益者）	競艇ファンに
手 段	日々の出走表、競艇ニュース、ポスターを主要駅、コンビニエンスストア、個人店などに配送することで
想定する成果	ファンの来場促進、売上向上を図る。

## ③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
配送か所数	出走表（276）、前夜版（54）、競艇ニュース（289）、ポスター（159）	出走表（454）、前夜版（56）、競艇ニュース（285）、ポスター（145）	出走表（476）、前夜版（0）、競艇ニュース（277）、ポスター（131）
本場開催時蒲郡競艇入場者数	1,083,418人	966,092人	792,000人
出走表・場外宣伝物配布委託料	32,634,000円	42,525,000円	42,780,000円

## ④成果指標

成果指標名	①	②
	出走表設置か所数当たりの誘客者数	入場者1人当たりの出走表・場外宣伝物配布委託料
成果指標の説明	蒲郡競艇入場者数/出走表設置か所数	出走表・場外宣伝物配布委託料/蒲郡競艇入場者数

## ⑤事業の進捗状況

（ モーターボート競走事業特別会計 ）

（千円）

		平成15年度決算	平成16年度決算	
成果指標 ①	計画	-	-	1663.9人
	実績	3925.4人	2128.0人	-
成果指標 ②	計画	-	-	54.0円
	実績	30.1円	44.0円	-
事業費	事業費	38,200	42,734	42,875
	人件費	812	804	828
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	39,012	43,538	43,703
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	39,012	43,538	43,703

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	主要駅、コンビニエンスストア等に早朝には、出走表が配布されており、出勤時のファンの目に触れる体制ができています。
経済効率性	2	2	多数の配送箇所があり、委託会社が車8台で配送しているが、より節約することが課題である。
事務効率性	2	2	業者へ委託しており、事務面は効率的に行っている。
必要性	3	2	ナイター中心の蒲郡競艇にとって、出勤時に出走表が駅等で目に触れることが重要であり、搬送業務は必要である。
小計	10 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	市民参加の事業ではないが、競艇ファンの関心は高い。
合計	11 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	ナイター中心の蒲郡競艇にとって、出勤時に出走表が駅等で目に触れることが重要であり、隣接する浜名湖競艇の誘客に負けないためにも必要となる。16年度から豊橋市から安城市までのサークルKサンクス約200店舗にも設置をしており、残部状況を確認しながら、個所数を減らすことも必要である。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

・16年度からコンビニエンスストア「サークルKサンクス」の豊橋市から安城市までの全店舗に出走表を置き、ファンの要望にこたえるようにした。また、これに伴い、個人店などで出走表の取り出しの少ないところは配送を取りやめた。  
 ・16年度から名古屋及び豊橋のケーブルテレビでのナイターレースダイジェスト版の放映をやめたため、ビデオテープの配送を廃止した。

⑧今後改善すべき点

・17年度から出走表前夜版の配送56か所をやめ、経費の節約に努めた。  
 ・個人店に設置してある出走表箱などの取り出し数の状況を把握し、少ないところは廃止するように常に注意を払う。

⑨平成18年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載



# 平成16年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	事業課	内線等	97-1174
事業コード		事務事業名	SG広告宣伝経費等負担事業	
根拠法令等			A法令 B条例 C規則 Dその他	Eなし

## ①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

## ②事務事業の内容

対象（受益者）	SG競走を開催するにあたり、
手 段	競艇広報センター及び全国モーターボート競走施行者協議会にSG競走広告宣伝費分担金及びSG競走場内統一ツール製作費分担金を払うことで
想定する成果	SG競走の宣伝を行い、ファンへの周知を広く行い売り上げ増を図る。

## ③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
SG競走場内外装飾統一ツール製作費分担金	3,100,000円	2,480,000円	—
SG競走広告宣伝費分担金	79,857,554円	79,902,401円	—
蒲郡競艇開催SG競走売上額	20,973,662,600円	18,711,390,300円	—

## ④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標の説明	SG競走場内外装飾統一ツール製作費分担金、広告宣伝経費等負担金1円当たりの売上額	SG競走売上額に対する分担金の割合
成果指標の説明	SG競走売上額 / (SG競走場内外装飾統一ツール製作費分担金+SG広告宣伝経費等負担金)	(SG競走場内外装飾統一ツール製作費分担金+SG広告宣伝経費等負担金) / SG競走売上額 × 100

## ⑤事業の進捗状況 (モーターボート競走事業特別会計) (千円)

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標	計画	-	-	-
	① 実績	252.8円	227.1円	-
成果指標	計画	-	-	-
	② 実績	0.40%	0.44%	-
事業費	事業費	82,958	82,382	0
	人件費	812	804	0
	(人数)	0.1	0.1	0.0
	合計	83,770	83,186	0
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	83,770	83,186	0

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	競艇広報センターが窓口となりSG競走のために行う宣伝は、全国展開のテレビCM、新聞広告などであり、その成果がどの程度売り上げにつながっているかの把握が難しい。
経済効率性	2	2	SG競走の売り上げが毎年減少し、収益率も厳しい中で、SG競走開催場に課せられる高額な分担金額が下がらないのは、検討すべき課題である。
事務効率性	2	2	競艇広報センター及び全国モーターボート競走施行者協会に分担金を支払う手続きが中心であり、物品の製作、広告宣伝等の細部は、関係機関が行うため効率的である。
必要性	2	2	競艇界の最高峰レースであるSG競走のPRのため必要な事業である。
小計	8 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	2	1	市民参加はない事業だが、競艇界の最高峰レースであるSG競走のPRの面では必要な事業である。
合計	10 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	分担金の支払いが主な内容であり、業務面では効率的である。SG競走のPRについて、全国規模での実施と競艇業界の広報の窓口である広報センターが直接各業者と契約する点で、広域的な展開が図ることができる。また、場内外装飾ツールについても全国モーターボート競走施行者協会がSG物品を統一して作成する点で利点がある。ただ、売り上げが下がっている中で、分担金が高額な点は、今後の対応が必要と考えられる。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

・SG開催後に開催される反省会などで、競艇広報センター及び全国モーターボート競走施行者協会に広告宣伝の有効活用及び経費の節約について要望している。

⑧今後改善すべき点

・競艇広報センター及び全国モーターボート競走施行者協会に広告宣伝の有効活用について要望する。

⑨平成18年度予算に反映する項目

・18年度はSG競走の開催がないため予算計上はしない。

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

# 平成16年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	事業課	内線等	97-1174
----	-------	-----	-----	---------

事業コード		事務事業名	番組編成関係事業				
根拠法令等			A法令	B条例	C規則	Dその他	Eなし

## ①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

## ②事務事業の内容

対象(受益者)	競艇ファン、出走表印刷業者、スポーツ紙など競艇マスコミ関係者及び予想業者に
手 段	日々のレース番組の編成事項、参加選手・レース結果の情報・データ等を提供することにより
想定する成果	蒲郡競艇の売り上げ増を図る。

## ③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
主な内容	翌日の番組前夜版の印刷、新聞社等へのデータ送付、レース結果情報、データ等の資料提供業務	翌日の番組前夜版の印刷、新聞社等へのデータ送付、レース結果情報、データ等の資料提供業務	翌日の番組前夜版の印刷、新聞社等へのデータ送付、レース結果情報、データ等の資料提供業務
本場開催日数	186日	192日	186日
蒲郡競艇本場売上額	49,831,859千円	43,725,903千円	38,358,000千円
各市開催場間場外発売日数	66日	109日	152日
各市開催場間場外発売分	20,757,607千円	20,281,181千円	12,370,000千円
ボートピア川崎発売日数	119日	112日	80日
ボートピア川崎売上額	1,279,817千円	1,003,921千円	840,000千円

## ④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	本場開催レース1日平均売上額	
成果指標の説明	本場開催レース1日平均売上額	

## ⑤事業の進捗状況

( モーターボート競走事業特別会計 )

(千円)

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	-	-	298,108
	実績	386,394	338,599	-
成果指標 ②	計画			
	実績			
事業費	事業費	10,332	10,177	10,521
	人件費	2,435	2,411	2,484
	(人数)	0.3	0.3	0.3
	合計	12,767	12,588	13,005
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	12,767	12,588	13,005

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	日々のレースの番組編成作業は、県モーターボート競走会への事務委託であるが、施行者としてより面白く、売り上げ増につながる番組編成になるよう注文をつけている。また、前夜版の発行、マスコミ等への資料・データ提供も正確・迅速を心がけている。
経済効率性	3	2	マスコミ、予想業者への資料・データの提供で、競艇ファンへのPRにつながる。
事務効率性	2	2	番組編成作業は、特殊業務であり、県モーターボート競走会への委託で効率的に実施している。ただし、実際の番組編成者によって特色があり、施行者として、より売り上げ増につながる番組編成に注意を払っている。
必要性	3	3	番組編成作業、マスコミ等への資料提供、ファンへの前夜版の発行など欠くことのできない作業である。
小計	11 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	市民参加はないが、競艇ファンには必要な事業である。
合計	13 / 15 満点中	12 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	番組内容による売り上げへの影響は大きいことを念頭におき、絶えずファン心理をつかみ、買いやすい番組を編成することが重要である。また、新聞社、予想業者への資料送付、データ送信とも時間に追われる作業だが、正確・迅速を心掛け実施している。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

- ・ナイターレースの開始にあたり、スポーツ紙各社の締め切り時間の関係で、翌日の番組編成は9レース終了時には前夜版（原案）を出せる体制をとるようとの要望があり、その体制を整えている。
- ・ナイターレース一般戦の予選最終日は、スポーツ紙各社の締め切り時間の関係で9レースまでが予選となっており、それ以降の一般戦レースでの売り上げが思うように伸びないため、翌日の優勝戦に出場する有力選手も走らせるようにした。

⑧今後改善すべき点

- ・現在夏季ナイターレースの場合、予選最終日は9レースまでが予選となっており、10レース以降は一般戦となっているので、売上が落ちる傾向にある。スポーツ紙各社の了解が必要であるが、予選レースを少しでも後半に移動し、売り上げ増への努力を行う。
- ・5日制、6日制のタイトル戦でも準優制を導入し、売上増を図る。

⑨平成18年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

- ・番組編成に関する提案、検討については、競艇に関する専門的な知識が必要であり、そうした人材の配置、育成が継続的に必要である。

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載